

行政相談に尽力

行政相談委員 塚本武敏氏に感謝状

わだい



感謝状を受け取った塚本氏（左から3人目）

平成25年4月から平成29年3月までの4年間、行政相談委員を務めた塚本武敏氏（町2区）の退任に伴い、行政相談に尽力したことを称え5月8日、市役所で佐藤市長と現職委員3名の立会いのもと、総務省熊本行政評価事務所の大塚所長から感謝状が贈られました。

塚本氏は、在任中、定期的に行行政相談窓口を開設し、市民の皆さまからの相談を受けてきたほか、昨年7月には熊本地震復興支援として開設された「被災者支援特別行政相談所」にも相談委員として参加し、積極的に活動をされてきました。4月から一の宮地区は井重男氏（古神3区）が塚本氏の後を引き継ぎます。

超人シェフがレシピ考案

市内の全小中学校でスーパー給食



中嶋シェフの考案した給食

一流料理人が給食のレシピを考案する『スーパー給食』が5月26日、市内の全小中学校を対象に実施されました。

この取り組みは、楽天株式会社 が募った募金を使って一般社団法人超人シェフ倶楽部（中嶋貞治代表）が企画したもので、子どもたちの食育と給食を調理する関係者の研修を目的として実施されました。

中嶋シェフと一緒に給食を食べた阿蘇小学校の6年生は、「苦手なものもおいしく食べられた」と笑顔で感想を述べました。また、中嶋シェフは、「子どもたちに元気をもらった。熊本は食材の宝庫。もっと地元の食材を食べてほしい。」と話しました。

大雨時は早めの避難を

狩尾2区～的石地区で避難訓練

News



避難者を補助する消防団員

平成24年に発生した九州北部豪雨災害を教訓に、梅雨時期の大雨に備えるため5月27日、狩尾2・3区、跡ヶ瀬、的石地区を対象に避難訓練が実施されました。

集中豪雨により土砂災害警戒情報が発表されたとの想定で、防災行政無線やお知らせ端末などで避難を呼びかけると、113世帯215人が、避難場所である阿蘇西小学校阿蘇西校舎体育館などに次々に避難。消防団や自主防災組織は避難者の誘導や補助などを行いました。

一方、市役所では市民・消防団への情報伝達や連携、避難所開設業務など、大雨時の対応を確認しました。

差別のないまちづくりを

コミュニティセンター・カルデラASO運営審議会

市コミュニティセンター運営審議会(委員13名)とカルデラASO運営審議会(委員13名)が5月29日、6月2日にそれぞれ開かれ、新しく就任した委員に佐藤市長から委嘱状が交付されました。

運営審議会の会長には、國武香氏と井島昭年氏がそれぞれ再任。その後行われた審議会では、昨年度の事業報告と今年度の事業計画が諮られ、差別のないまちづくりに向け、住民交流の拠点となる開かれたセンターとしての事業運営などについて、慎重に審議されました。

News



委嘱状を受け取る國武氏

復興願い高校生らが田植え

小里の田んぼでお田植え祭開催

わだい



手植えを行う阿蘇中央高校の生徒たち

熊本地震からの復興を願う『お田植え祭』が5月28日、阿蘇草原保全活動センター横の水田で開かれました。

この取り組みは、環境を守り美しい地球を後世に伝えることを目的として『みんなのF.U.J.I.S.A.N地球フェスタWA実行委員会(渡邊政男委員長)』の主催によるもので、阿蘇中央高校の生徒や親子連れなど約100名が参加。水田前で神事が行われた後、約20アールの水田に参加者が苗を手植えしました。

今回植えられた苗は、10月14日のイベントで親子稲作体験として収穫祭が行われる予定です。

消費者支援活動に顕著な功績

消費者庁ベスト消費者サポーター章に佐藤相談員

消費者支援活動に顕著な功績があったとして、市消費生活センターの佐藤良子相談員がベスト消費者サポーター章を受章し5月22日、熊本県庁で伝達式が行われました。

この章は、消費者庁長官から贈られるもので、本年度は、全国で24名が受章しています。

佐藤相談員は、市が消費生活相談室を設置した平成17年10月から約12年にわたり消費生活相談員として年間約500件の相談業務に従事。消費生活センターの周知・相談の掘り起こしなど市の消費者行政に貢献し、市民の安心安全なくらしの構築に向けて尽力しています。

表彰



表彰を受けた佐藤相談員(中央)

復興に向けて力を合わせて

熊本銀行及びF F Gと地方創生包括的連携協定締結

産業や農業振興などの政策課題を共有し、地方創生と復興支援に寄与することを目的として5月31日、市役所で、市と熊本銀行及びふくおかフィナンシャルグループとの包括的連携協定が締結されました。

この協定によって、ふくおかフィナンシャルグループの持つネットワークや情報を活かして、市の商店街の活性化や地場産業の販路拡大、雇用創出などにおける協力が期待されます。

最初の取り組みとして、熊本銀行が特別協賛で7月28日～30日に市で開催されるゴルフトーナメントの賞金の一部が市へ寄付される予定です。



協定書を手握り握手を交わす
佐藤市長と熊本銀行の竹下頭取（右）



感謝状が贈られた加藤さん

永年の婦人会活動に感謝状

加藤クラ子さんに熊本県婦人会から感謝状

永年にわたり献身的に婦人会の運営に携わったとして、加藤クラ子さん（小地野）に熊本県地域婦人会連絡協議会から感謝状が贈られました。

県婦人会の感謝状は、婦人会の会長経験者で80歳を超えた方に贈られるものです。

加藤さんは、平成14年～平成21年までの8年間、波野校区婦人会会長として従事され、町村合併時には、波野校区の婦人会代表として市婦人会の設立に尽力しました。

介護保険事業の適正な運営を行います

介護保険事業計画等推進委員会を開催

高齢者福祉の増進及び介護保険制度の適切な運営を目的とした阿蘇市高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画を策定するため、6月1日、市役所で介護保険事業計画等推進委員会が開かれ、佐藤市長から委員に委嘱状が交付されました。また、会長には阿蘇郡市医師会の古閑宏氏、副会長には、阿蘇郡市歯科医師会の安光千昭氏が選出されました。

この委員会では、介護給付サービスなどの利用量を見込み、平成30年度から3年間の介護保険料などを審議します。



委嘱状を受け取る古閑氏